

SGH企画 先端科学リサーチツアー

7月28・29日(木・金)の2日間、1年生52名、2年生38名が、先端科学リサーチツアーに参加しました。

28日(木)6時に関高を出発した2台のバスは、大きな渋滞に巻き込まれることもなく、12時前に、東京大学駒場キャンパスに到着。アニメーション映画「風立ちぬ」でも描かれた由緒ある建築物周辺を散策した後、先端研3号南棟 1階 ENEOS ホールで、東大の先生方から講義を受けました。

「先端研の概要説明&研究紹介」 所長 神崎 亮平 教授(生命知能システム)
講義Ⅰ「自立と依存」 熊谷 晋一郎准教授(当事者研究)
講義Ⅱ「水と暮らしを科学する」 小熊 久美子准教授(共創まちづくり)

神崎先生は、生物の環境適応脳(生命知能)の神経科学における世界的権威の先生。熊谷先生は新生児仮死の後遺症で車いす生活となるも、東大医学部を卒業され、「自らの困りごと」について研究を続けられる若手の研究者。小熊先生は世界的課題となっている「浄水技術と水システム」を研究される新進気鋭の先生です。

先生方の学問に向かう真摯な姿は、強い印象として心に残るものでした。

29日(金)は、2グループに分かれて行動しました。

27名の生徒が野村総合研究所へ移動し、身近な「情報システム」のしくみを通じて、システムエンジニアの仕事や情報システムが社会の中で果たす役割について研修しました。情報サービス産業がどのように成り立ちどのように機能しているかを、カードゲーム等で学びました。また、OBの小池純司氏より、コンサルタントの仕事内容についてのお話をうかがいました。

「TWINS(東京女子医科大学・早稲田大学 連携先端生命医科学研究教育施設)」には63名の生徒が参加しました。最先端の研究施設を見学し、関高校卒業生で早稲田大学在籍の長谷部有洋君に、取り組んでいる「ナノテク」研究について紹介してもらいました。終了後、早稲田大学に移動し、長谷部君を含む3人の卒業生の案内でキャンパスを見学し、野村総研グループと合流して、夜に関高に戻ってきました。

「日本の最先端の知性」にたっぷりと触れることのできた、充実の2日間でした。



先端研の会場です。



東
大
で
す
!



神崎先生のお話



熊谷先生「当事者研究」



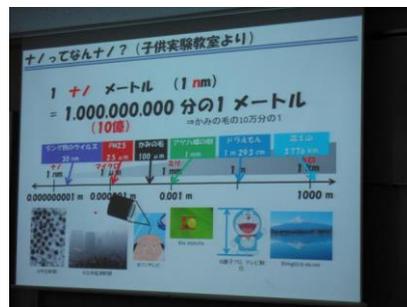
長谷部先輩の講義 於：TWInS



小熊先生に質問！



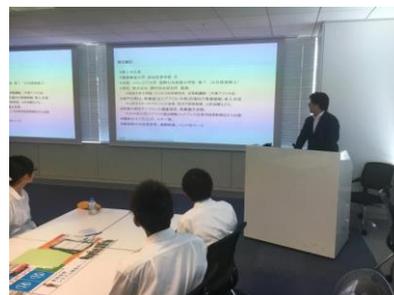
早稲田大学！受かるからね！



関高(野球部)卒 長谷部先輩はすごい！



野村総研 I T 戦略プログラム



関高OB小池純司氏のセミナー (野村総研)

